

「Case History Platform™」のリリースを2019年春に予定しています。

■ヘルスケア(健康・疾患・治療)実態を簡単なケースヒストリー型のアンケートで登録・情報共有する無料のプラットフォーム「Case History Platform™」

Case History Platform

<https://casehistoryplatform.com/lp/>

■開発の背景

世界一の高齢化率、日本の差し迫った社会問題を背景に、医療情報の有効活用が求められています。しかしながら日本の医療情報は未だ不完全・不足であり、問題解決・対策に必要な医療実態の情報も多くは見えておらず、また情報へのアクセスも限られています。

医療に関わる膨大な情報の統一・システム化・蓄積、研究などによる手法では、時間とコストがまだまだかかり、また慢性疾患(糖尿病、高血圧症、脂質異常症など)や、がん(癌)等も、5年、10年単位、それ以上のデータが必要であるのに対し、今からデータ設計・収集している様では、もはや間に合いません。

問題解決へのセオリー、第1手は、「実態・事実を(詳細でなくて良い)概要で早く知る事」、そしてそれは「より簡単に・誰もがその情報にアクセスできる事」だと考えます。結果として、その意味合い・概要がより早く見える化し、解決へのヒント、厳密な検証、要因の研究へつながる、より近道になると考えます。

Case History Platform™は、ヘルスケア(健康・疾患・治療)実態を簡単なケースヒストリー型のアンケートで登録・情報共有する無料のプラットフォームです。

従来のブログ式のSNSや症例共有サイトとは異なり、簡単な事実単位の数値評価(定量的)+自由記述(定性的)の形式で、過去～現在の履歴を収集する事で、知りたい健康・疾患・治療の複数年間のヘルスケア実態概略を、個別事例だけでなく、特定条件のグループ抽出や、集計値としての全体感などで把握が出来ます。また収集されたデータは、独自の時系列分析のデザインで有効活用していく予定です。

インターネット上の本プラットフォームには、より早く、簡単に、時間を超えて、1億2千万人がその情報を直ぐにでも有効活用できる、情報価値を創造できるポテンシャルがあります。

まずは基本的な登録システムからになりますが、段階的にヘルスケア・疾患毎の機能を追加していく予定です。